

秋の収穫が待ち遠しい

どぶろく製造に向けスタート

6月13日、マタギの里観光開発が、打当温泉地内の水田を借り受け、「マタギ特区」の『どぶろく(濁り酒)』製造に向けて、田植えが行われました。やや半月程遅れての作業となりましたが、心配された苗の状態も良く順調に生育しております。

この日、男子職員が機械植えをした後、女子職員が後植えの補植作業を行い、秋には、黄金の稲穂が出揃い「美味しいどぶろくが出来るように」と、一本一本の苗に思いを込めました。

冬には、打当温泉内で美味しい『どぶろく(濁り酒)』が賞味出来る事でしょう。



約10アールの水田にあきたこまちが植えられました



カエルの生態について説明をうける参加児童たち

チビッコ探検隊ノロ川に行く

あそびの達人教室開催

文部科学省の地域子ども教室推進事業でNPO法人冒険の鍵クーン(村田君子代表)が主催する「あそびの達人教室」が6月18日に奥森吉ノロ川で開催されました。

「春のノロ川探検隊くすとぶおたまじやくしをさがせ」と題して、市内から参加した小学生7人が、初夏のノロ川を探検しました。森に入った探検隊は、さんざめくエゾハルゼミの抜け殻を探して、私は「5個」、僕は「7個」など見つけた数を競争したり、カエルの卵と全く形の違うモリアオガエルの卵を発見したりと、普段の生活とは違う不思議な体験にどの子ども興味津々の様子。あそびの達人に一步近づいたようです。

心に響く演奏にたくさんの拍手

合川吹奏楽の夕べ

陸上自衛隊第9音楽隊(青森市)が演奏する「合川吹奏楽の夕べ」が6月11日、合川体育館で開催され、約1500人の方が自衛隊音楽隊の演奏を楽しみました。合川吹奏楽の夕べは、秋田合川ライオンズクラブ結成30周年記念事業として開催されたものです。

合川吹奏楽の夕べでは、この地域になじみの深い「浜辺の歌」、「民謡メドレー」や「ティズニーメドレー」など大人から子どもまで楽しめる曲が演奏され、会場は拍手でいっぱいでした。そして特別出演の秋田駐屯地ラッパ隊が、自衛隊の起床や点呼、消灯など一日の様子をラッパで披露してくれました。



観客を魅了させた音楽隊



右から中村典幸さん、長田優貴さん、鷹巣スキーレーシングスポーツ少年団の奈良正人代表、市長

長田さん、中村さんがドイツへ派遣

日独スポーツ少年団同時交流事業

日独スポーツ少年団同時交流事業で北秋田市からは二人がドイツに派遣されることになり、6月17日、派遣団員らが市役所を訪れ、岸部市長にあいさつを行いました。

派遣が決まったのは、長田優貴さん(北海道教育大学1年、材木町)、中村典幸さん(鷹巣高校3年、今泉)で、小学生から鷹巣スキーレーシングスポーツ少年団員としてスポーツ活動に励み、現在も後輩の指導や、リーダーとしての研修活動に取り組んでいます。

ドイツでの23日間でスポーツ事情を学ぶほか、民泊し、交流活動なども行い、「21世紀に何ができるか」をテーマにディスカッションにも参加する予定です。

桃洞の滝への散策路を清掃

クリーンアップ&自然観察会

第24回奥森吉クリーンアップと第23回自然観察会が6月19日、森吉山野生鳥獣センターから桃洞の滝への散策路を中心に約50人が参加して行われました。

ゴミ拾いや倒木の処理などのボランティア活動に汗を流した参加者たちは、桃洞の滝へたどり着くと、自然の清涼剤を一杯に浴び、思わず「気持ちいい」と発していました。

奥森吉の新緑シーズンは終盤を迎えながらも、まだまだ、たくさんの入山者があります。年々、ゴミの量が減少してきてはいるものの、この日だけでゴミ収集袋に10個程。それぞれがマナーやルールを守り美しい自然を後世に残し、伝えていきたいと思います。



ゴミ拾いや倒木の処理などで汗を流す参加者

市の芸術文化振興に役立てて

鷹巣町芸文協ピアノ・紗幕を寄付

文化会館の備品として役立ててと、鷹巣町芸術文化協会(藤嶋まさと会長)がピアノと舞台用の紗幕を寄付することになり、6月13日、同協会の三役らが市役所を訪れ、寄付目録を岸部市長に手渡しました。

同協会は、昭和43年に発足、県内でも最も活動歴の長い団体です。活動のかたわら、芸術文化振興のために、基金を積み立ててきましたが、合併を機会として同協会も合併を検討、基金の活用方法を考えた結果、このほど開催された総会で、寄付を決めたものです。ピアノは6月中旬に、また紗幕は7月中旬に設置され、文化会館での各種舞台公演・練習などで利用できる予定です。



寄付目録を市長に手渡す鷹巣町芸文協役員